

会員各位



日本周産期・新生児医学会では、世界早産デー（11月17日（日））を学会として積極的に推進するため、実施状況について会員の皆様へ全国アンケート調査を行う事としました。

現在、積極的に取り組んでいる、もしくは今後取り組みを検討されている施設や関係者の方は是非、アンケートにお答えいただき、本学会としての取り組みにご参加頂けると幸いです。

日本周産期・新生児医学会として、本アンケート結果をもとにして、全国の皆様の取り組みを発信することで、皆様と一緒に世界早産デーを盛り上げていきたいと考えております。

11月17日の世界早産児デーは、早く生まれた赤ちゃんたちとそのご家族が抱える課題や負担に対する意識を高めることを目的に制定されました。早産児のお母さんがドイツで立ち上げたヨーロッパ NICU 家族会 (EFCNI) が、2008 年にキャンペーンを始め、世界中の家族会の協力でグローバルなムーブメントとして広がりました。現在は、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、セーブ・ザ・チルドレン、国際新生児看護学会など多くの国際組織や学術団体、企業の賛同を得ており、日本からは新生児臨床研究ネットワーク、日本 NICU 家族会機構 (JOIN)、日本新生児看護学会が協賛しています。

世界中の NICU では、この日にあわせて医療スタッフが世界早産児デーのモチーフである靴下を使った飾り付けをし、シンボルカラーの紫色を身にまとうことで、赤ちゃんのご家族を応援する気持ちを表します。また、社会へ向けたメッセージとして世界各地のモニュメントが紫色にライトアップされます。(はじめてのNICUより引用)

なお、本アンケートに回答するかどうかや回答内容により、あなたやあなたの施設に不利益が生じることはありません。また、同一施設から重複して回答いただいても大丈夫です。

ご多忙とは存じますが、9月9日(月)までに下記 URL からご回答いただきますようお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf0e321mWLa8h55XZK5HhQ8ZERd9YIb_uCp52AFyqYQTFvcPA/viewform?usp=sf_link

日本周産期・新生児医学会 渉外委員会

田中 守

諫山哲哉